

令和6年度  
議会だより編集委員会  
行政調査報告書

## 令和6年度議会だより編集委員会行政調査 復命報告書

令和6年11月6日  
議会だより編集委員長 土屋 範晃

日程： 令和6年10月15日(火)～10月16日(水)  
調査先： (1)栃木県那須町 (2)栃木県高根沢町  
参加者： 以下の通り

| 役 職             | 氏 名             |
|-----------------|-----------------|
| 議会だより編集委員会 委員長  | 土屋 範晃（つちや のりあき） |
| 議会だより編集委員会 副委員長 | 畑中 和恵（はたなか かずえ） |
| 議会だより編集委員会 委 員  | 伊藤 浩（いとう ひろし）   |
| 〃               | 鈴木 清（すずき きよし）   |
| 〃               | 和田 哲（わだ さとし）    |
| 〃               | 菅藤 昌己（かんとう まさき） |
| 〃               | 高橋 隆雄（たかはし たかお） |
| 議会事務局 局長補佐      | 庄司 裕樹（しょうじ ひろき） |

### 【所感】

デザインやレイアウトに優れ、市民の声を数多く掲載している2自治体の議会だよりを調査した。2自治体ともに編集方針が確立されており、本市においても編集方針を策定する必要性を感じた。また、2色刷りによる印刷やカラーによる Web ページ掲載など、今後取り入れたい点も多数存在した。その他、余白を有効に取り入れることで、情報を残しつつ見やすいレイアウトとしている点など次号からでも改善できる点をご教示いただいた。

それぞれの議会だよりを作成する委員同士の意見交換は、共感できる部分も多かったが、作成に当たって異なっている部分も明らかとなり、大変有意義な内容であった。クリニックしていただいた点も改善していきたい。

この度、本市の行政視察を快くお受けいただき、事前の準備から当日のお出迎えから研修、お見送りまで、大変丁寧にご対応いただいた2自治体に心より感謝を申し上げる。今回の行政調査で学んだことを本市議会だよりに積極的に取り入れ、よりよい議会だよりとなるように努めていく。

※ 次項より行政調査先における研修内容の詳細

## (1)栃木県那須町

日 時： 令和6年10月15日(火) 午後1時30分～午後3時  
 場 所： 那須町役場 全員協議会室  
 調査事項： 議会だよりの編集等について、意見交換会  
 対 応 者： 以下の通り

| 役 職           | 氏 名               |
|---------------|-------------------|
| 広報特別委員会 委 員 長 | 関 幸夫（せき ゆきお）      |
| 広報特別委員会 副委員長  | 小山田 典之（こやまだ のりゆき） |
| 広報特別委員会 委 員   | 増山 このみ（ましやま このみ）  |
| 〃             | 三浦 陽子（みうら ようこ）    |
| 〃 、 副議長       | 木村 秀一（きむら しゅういち）  |
| 議長            | 室井 高男（むろい たかお）    |
| 議会事務局 局 長     | 高藤 建（たかとう たつる）    |
| 議会事務局 局長補佐    | 平野 雅美（ひらの まさみ）    |
| 議会事務局 主 査     | 菅野 大（かんの まさる）     |



## 那須町の特徴

那須町は尾花沢市と同じ面積(372km<sup>2</sup>)であり、当初予算規模も145億円と同程度、俳人松尾芭蕉の奥の細道にゆかりのあるまちといった共通点がある。

## 町議会だよりの先進事例と研修内容

- ・ 議会広報編集マニュアル
- ・ 議員を紹介する「議員コラム」
- ・ Web ページ上における全編カラーのデータ掲載
- ・ 町の気になるところを調査した「議員見聞録」の取り組みと YouTube 公開
- ・ 議会広報モニター制度の実施
- ・ 臨時号の発行 など

## 研修の概要

### 1. 事前質問への応答

| No. | 内 容                                                                                                                                                                                |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | <p><b>Q</b>「議会見聞録」を始めた経緯(動画の公開も含めて)を教えてください。また、撮影・編集方法、町民の反応や大変な点についても教えてください。</p> <p><b>A</b>町民の反応については、大変好評をいただいている。担当する委員を決定して、取材や記事の編集をしている。都合がつく限り、なるべく全員で取材している。</p>         |
| 2   | <p><b>Q</b>「議員コラム」はどのような経緯でスタートしたのですか。また、町民の反応についてお聞かせください。</p> <p><b>A</b>令和元年2月に改選し、13名中7名が2期目、1期目が6名という議員構成になった。そこで、議員のことを知ってもらうために実施した。コラムも好評である。議員コラムについては、172号でいったん終了した。</p> |
| 3   | <p><b>Q</b>編集方針があればご教示ください。(全編カラー刷りにしていることや、文章を横書きにしていること等)</p> <p><b>A</b>カラー刷りについては、実際は二色刷りであり、ホームページ上において全編カラーである。文章は、横書きにしたところ好評である。特に数字には横書きが適している。</p>                       |
| 4   | <p><b>Q</b>議会だよりの年予算とその内訳について教えてください。</p> <p><b>A</b>約99万円であり、尾花沢市と同じくらい。</p>                                                                                                      |
| 5   | <p><b>Q</b>議会広報モニターの取り組み経過やモニターの募集・選定方法、モニター会議の実施方法について教えてください。</p>                                                                                                                |

|   |                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|   | <p><b>A</b>モニターは公募によって決定している。ただし、なかなか応募がない。4名が前回からの継続。3名が委員からの声掛けで決定した。発行した議会だよりとアンケート用紙を各委員がモニターに届ける。ネット上で回答できるが、万が一のために紙でも配布している。なお、全員ネットで回答している。10月29日にモニター会議を予定している。162号が特に大きな変更を行った。モニターの意見を取り入れ、右綴じから左綴じへ変更し、横書きへ統一した。表題はひらがなと漢字に戻っている。</p> |
| 6 | <p><b>Q</b>表紙の写真は、どのようにテーマを決めて撮影していますか。</p> <p><b>A</b>幼稚園や学校を中心に表紙にしている。子どもを中心にする事で、親が見ることや親しみやすさを得られるのではないかと狙いがある。</p>                                                                                                                          |
| 7 | <p><b>Q</b>「傍聴者アンケート」への回答はだれがどのように行っていますか。</p> <p><b>A</b>議会運営委員会で担当を決めて、その担当者が答えを出すようにしている。回答内容は、議運で協議して決定し、議会だよりに掲載している。</p>                                                                                                                    |
| 8 | <p><b>Q</b>「議会フォーラム」について、参加者やテーマの設定、進行方法など、どのような方法で開催されていますか。</p> <p><b>A</b>那須町議会基本条例第5条に基づく議会フォーラムを全議員が参加する議会改革推進協議会(任意の協議会)が主体となって実施している。議会から地区等への開催を依頼する場合や団体等から申し込みを受ける場合がある。また、リモートでの参加やテーマを特に定めず、気軽に話すようにした会もあった。</p>                      |
| 9 | <p><b>Q</b>臨時号を議会前に発行されておりますが、発行方法(スケジュール等)や町民の皆さんの反応について教えてください。</p> <p><b>A</b>臨時号は事務局職員のみで発行している。那須町は自治会への配布は月2回であり、2回のうちの後半の1回で配布している。事務局としての支出はない。町用の紙代程度である。スケジュール等は資料8のとおり。かなり前からやっているの、最近の町民の反応はわからない。一般質問の通告には役立つ。</p>                   |

## 2. その他の質問

| No. | 内 容                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 伊藤  | <p><b>Q1</b>モニター制度は、なかなか引き受けてもらえない。現在はモニターの活動はない。那須町さんにおけるモニター制度の独自の工夫はあるか？</p> <p><b>A1</b>独自の工夫はとくにはないが、公募をかけて集まらない状況なので、継続してもらったり、委員の知り合いにやってもらったりして7名の方にいただいている。モニターアンケートも実施している。</p> <p><b>Q2</b>モニター制度は実施してどのくらい？</p> |



|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p><b>A2</b>平成31年5月。</p> <p><b>Q3</b>議会フォーラムは、年間3地区で開催されているとのことであるが地区の選定はどのように行っているか？</p> <p><b>A3</b>89ある自治会から3地区を選定して実施。特に議員がいない地区を重点的に選定している。なお、ほかの地区の方も参加可能である。</p> <p><b>Q4</b>事務局の中で、特定の方が編集委員会と一緒に入って作業に従事されているのか？</p> <p><b>A4</b>補佐と菅野さんが編集委員会に入って協議している。</p>                                                                                                                |
| 鈴木 | <p><b>Q</b>どうすればマニュアルの作成や傍聴者からの声に回答するといったようによい広報誌を作成できるのか？</p> <p><b>A</b>古いものにこだわらず、視察先のよい取り組みをどんどん取り入れるようにしている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 高橋 | <p><b>Q</b>横書きについて。モニターさんからはどのような意見が出たのか？</p> <p><b>A</b>縦横が入り組んでいて見づらいとのことだった。一般質問も数字が縦書きでは表現しづらかった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 菅藤 | <p><b>Q1</b>YouTube へのアップはどのようにしているか？今後の展開は？</p> <p><b>A2</b>第1弾、第2弾については、旧体制の委員長が撮影し、編集し、アップしていた。第3弾は現在の委員で実施した。増山委員が、編集が得意。議員見聞録との相性がいいと思った。本当は毎号セットで実施したいと思っている。動画にすると若い方も抵抗なく見てくれる。今後も委員と協議して継続していきたいと思っている。</p> <p><b>Q2</b>編集マニュアルについて。事細かく丁寧で分かりやすい。ぜひうちでもまねさせてほしい。その他の項目で、情報誌にしたいという思いを感じる。これは皆さんでご協議されたのか？</p> <p><b>A2</b>マニュアルについては、ほぼ作成当時のまま。旧体制が作ったもの。当時の状況は把握していない。</p> |
| 和田 | <p><b>Q1</b>一般質問について、尾花沢市は全員の見出しがあるが、那須町さんはない。尾花沢市のクリニックをしてもらいたい。</p> <p><b>A1</b>臨時号で、尾花沢市のようなページがある。そのため紙面掲載することがなく、省略していた。</p> <p><b>Q2</b>議員のアンケートについて、Google フォームを使用されている。タブレットの活用事例などがあればお願いしたい。</p> <p><b>A2</b>基本的には活用していない。LINE は活用して協議している。使用を徹底するように言われている。</p> <p><b>Q3</b>モニターへの報酬の支払いは？</p> <p><b>A3</b>千円のクオカード。年間で1回。</p>                                             |

## (2) 栃木県高根沢町

日 時 : 令和6年10月16日(火) 午前10時～午前11時30分  
 場 所 : 高根沢町役場 第1・2会議室  
 調査事項 : 議会だよりを通した町民の声の拾い方、伝え方  
 尾花沢市議会だよりのクリニック(意見、感想など)  
 対 応 者 : 以下の通り

| 役 職           | 氏 名                |
|---------------|--------------------|
| 議 長           | 神林 秀治 (かんばやし ひではる) |
| 広報常任委員会 委員長   | 菅谷 英夫 (すがや ひでお)    |
| 広報常任委員会 委 員   | 野口 昌宏 (のぐち まさひろ)   |
| //            | 加藤 章 (かとう あきら) ※欠席 |
| 議会事務局 局長補佐兼係長 | 森田 由美子 (もりた ゆみこ)   |



## 高根沢町の特徴

農業においては、町の半分で米を作付けしており、コシヒカリから「とちぎの星」が主流になった。町内に御領牧場があり、米も献上された。産業分野においては、医療機器の MANI(マニー)が創業し、高いシェアを誇っている。また、令和2年に道の駅がリニューアルオープンしている。

## 町議会だよりの先進事例と研修内容

- ・ 第38回町村議会広報全国コンクール奨励賞(編集・デザイン部門)
- ・ 2色やカラー刷り、たくさんの写真と豊富な内容
- ・ 町民の声を多く掲載
- ・ 様々な組織などと意見交換する「カフェ・ド・ギカイ」の取り組み
- ・ 編集方針 など

## 研修の概要

### 1. 事前質問への応答

| No. | 内 容                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | <p><b>Q</b>「カフェ・ド・ギカイ」を始めた経緯や、意見交換会のテーマ設定や開催方法、大変な点等は。</p> <p><b>A</b>平成24年10月に始めた議会報告会を、平成31年2月から「カフェ・ド・ギカイ」というサブタイトルを付け、カフェでお茶をするような雰囲気を目指して開催するようになりました。カフェ・ド・ギカイのテーマや開催方法は、広聴特別委員会で検討します。今の町の課題について意見交換ができる団体の選定が大変な点です。</p> |
| 2   | <p><b>Q</b>表紙写真を募集しているが、毎対応募はあるか。また、同じような方からの応募にならないか。</p> <p><b>A</b>応募はありません。</p>                                                                                                                                              |
| 3   | <p><b>Q</b>町民の方がたくさん掲載されているが、取材対象者の選定や事前の調整の有無、取材時に気を付けていることは。</p> <p><b>A</b>取材対象者は、議員としての人脈を活かしたり、担当課から紹介してもらったりして決めています。掲載できるスペースに合うよう、文章の文字数を伝えてお願いしています。</p>                                                                |
| 4   | <p><b>Q</b>「突撃インタビュー」の人はどのように行っているのか。団体やサークル等にも行っているのか。</p> <p><b>A</b>担当になった議員が選んでいます。団体やサークルを対象とはしていませんが、それらの代表者を務める方にインタビューすることはあります。</p>                                                                                     |



|   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 | <p><b>Q</b>全戸配布でなく新聞折込や施設等へ設置する方法となった経緯は。</p> <p><b>A</b>行政区長から町の印刷物の配布が負担だという声、町民から回覧だと発行日から届くまでに日数があるという声があり、平成16年度から町発行のものはすべて新聞折込での配布に変えました。以前は行政区(自治会)未加入者、また現在は新聞未購読者に対応するため、公共施設のほか、店舗や医療機関に配置しています。</p>                                                                                                                                        |
| 6 | <p><b>Q</b>編集方針は。</p> <p><b>A</b>①各ページ、文字はできる限り少なくし、写真や見出しを多く使う。<br/> ②余白を意図的に取り入れ、スッキリとした紙面にする。<br/> ③QRコードを使用し、HP内にある記事や資料、映像に誘導する。<br/> ④ページにゆとりができた場合は、特別企画を構築しそれに充てる。<br/> ⑤請願・陳情、それに伴う議会から提出される意見書は記事にする。<br/> ⑥行政視察や、所管事務調査、または研修等の記事は、目的・内容・感想・今後の展望を必ず載せる。<br/> ⑦肖像権に配慮した掲載(撮影時に、被写体の許可を必ず得る)。<br/> ⑧ネット上にあるイラストを使用する際は、著作権と使用許諾の要件を確認する。</p> |
| 7 | <p><b>Q</b>「議会だよりの年間予算とその内訳は。</p> <p><b>A</b>資印刷製本費:1532千円(年4回分)、<br/> 通信運搬費:41千円(施設や他市町郵送費)<br/> 委託料:749千円(年4回分の新聞折込代)</p>                                                                                                                                                                                                                            |
| 8 | <p><b>Q</b>毎回のレイアウトで気を付けていることは。また、特集記事は、議会だよりのどの位置にラインナップするのがいいと思うか。</p> <p><b>A</b>担当者が別であっても、統一的なレイアウトとなるようにしています。カフェ・ド・ギカイが特集記事として定着しており、終わりの位置になっています。</p>                                                                                                                                                                                         |
| 9 | <p><b>Q</b>「ちょっとブレイク」はどのような考えで生まれた企画か。また、町人の方々の感想はあるか。</p> <p><b>A</b>議会という固い内容の記事が続くなかで、ほっと一息つけるようにと、中ほどのページに入れています。町民の感想は、事務局に寄せられたものではありません。</p>                                                                                                                                                                                                    |

## 2. その他の質問

| No. | 内 容                                                    |
|-----|--------------------------------------------------------|
| 伊藤  | <p><b>Q</b>カフェ・ド・ギカイについて、全体の進め方や地域選定などの方法を教えてください。</p> |

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p><b>A</b> 広聴委員会で検討している。議会報告会では議会だよりを配布する程度にとどまっている。意見交換が主体で、提言に対して回答を行っている。そのやり取りを議会だよりでお知らせしている。年4回開催している。</p>                                                                                                                                                                                                                                              |
| 鈴木 | <p><b>Q1</b> 議会基本条例について。「結の心」の意味は？</p> <p><b>A1</b> 議会基本条例よりも前にあったまちづくり条例についても「結の心」が使われていた。ほかの町との差別化になると思って使った。</p> <p><b>Q2</b> 特集記事の場所について、高根沢さんのものを見て後ろでもいいと思った。ちょっとブレイクの題材を考えるにあたって、大変かと思うがどのようにしている？</p> <p><b>A2</b> 皆さんにお配りしたものは、野口委員が担当して作った。前号は委員長が担当し、高根沢町の100年前の写真を掲載した。今回の記事は、本社移転の出来事があったため、それに合わせて会長さんへのインタビューを行った。まちに親しみを持ってもらえるような記事にしている。</p> |
| 高橋 | <p><b>Q1</b> 目玉事業への町民の声は、毎回同じ人？</p> <p><b>A2</b> 毎回同じではないが、号が違えばかぶることはある。興味関心があることをピックアップしてコメントをもらっている。</p> <p><b>Q2</b> コメントの受け手の確保が課題であると思う。</p> <p><b>A2</b> 議会だよりということで信頼性があるのか、引き受ける方が多い。</p>                                                                                                                                                             |
| 菅藤 | <p><b>Q1</b> 表紙について。タイトルロゴの大きさが毎回異なっている意図は？</p> <p><b>A1</b> 書体は変えていないが、基本的には写真を優先している。統一性がないが、それぞれの個性が出ている。</p> <p><b>Q2</b> カフェ・ド・ギカイのネーミングはどのように決定した？</p> <p><b>A2</b> 当時の議員の方の発案であったと思う。</p> <p><b>Q3</b> 財産の取得のページについて。掲載した理由は？</p> <p><b>A3</b> ほかの報告ページとの案件が重複しないように配慮した結果。</p>                                                                         |
| 和田 | <p><b>Q1</b> 議員における事業のチェックや意見が良いと感じた。掲載はどのようにしている？</p> <p><b>A1</b> 担当委員の意見を載せている。ほかの委員が読んで大丈夫か判断して掲載している。</p> <p><b>Q2</b> 賛否が分かれた修正案の件について。わかりにくいと思った。</p> <p><b>A2</b> 4P に1P 使ってその内容を掲載した。わかりにくかったと思う。</p>                                                                                                                                                 |
| 畑中 | <p><b>Q1</b> 新聞離れが進む若い方への情報の届け方は？新聞折込に踏み切る際に懸念はなかったか？</p> <p><b>A1</b> 自治会加入率が40%を下回る自治体。市街地はアパートが多い。若い方の転入出が多い。多く配れる方法として新聞折込となった。子どもを表紙にするなどして、親の層も見るように工夫している。</p>                                                                                                                                                                                          |

**Q2** 区長さんが大変とか、配布速度に差が出る。参考になる配布手法であると感じた。

**A2** 町の広報誌が区長による各戸配布をやめたタイミングで実施した。配布が早いメリットがある。電子書籍でも閲覧できるようになっている。

### 3. 尾花沢市議会だよりのクリニック

#### 【菅谷委員長より】

| 号数   | 内 容                                                                                                                                                                                         |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全体   | 1. 市民参加や市民の声が少ない<br>2. 表紙、裏表紙のみカラーで中が白黒。二色刷りでもいいかと思う。<br>3. おばなざわのタイトルを大きくしたほうがいいと思う。<br>4. 一般質問の顔写真について、背景を抜いたほうがいいと思う。                                                                    |
| 120号 | 1. 3P の「皆さんの声を～」と「広報広聴委員会を～」の文字の大きさを逆にしたほうがいいと思う。読む側の視点で。<br>2. 13P の行政視察の報告について。所感があることはいいと思う。<br>3. 15P の「議会の主な動き」について。情報が多いページであるので、レイアウトを工夫したほうがいい。<br>4. P16について写真の数が多く、説明文が長い。もっと簡潔に。 |
| 121号 | 1. 2P と3P は、逆のほうがいいと思った。表にできるものは表にしたほうが見やすい。<br>2. 5P について。いい記事であると思う。対立していることはみんなが興味を持っているので、読んでもらえる記事であると思う。<br>3. 8P について。縦書きの中で横書きを入れたことがいいと思う。<br>4. 9P について。手書きの“○”はいいと思う。            |

#### 【野口委員より】

| 号数 | 内 容                                                                                                                                                                                |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全体 | 議員の一般質問が多くていいと思う。あえて質問を一つに絞って、限られたページの中で工夫されていると思う。色などの工夫があってもいいと思う。インデックスなども入れてみると見やすくなると思う。表紙については、もう少し工夫していてもいいかと思う。表紙については30分以上議論している。学校はグラウンドが大きく、どこを強調するかを明確にするといいのではないかと思う。 |